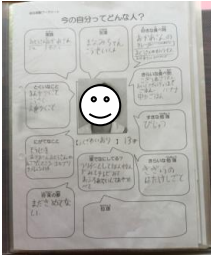


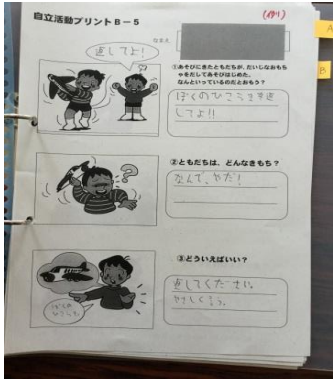
教材・教具の紹介（自作）

2 心理的な安定


名称及び写真	ねらい	使い方・アピールポイント等
<p>「今の自分って？」</p> 	<p>今の自分について項目ごとに整理し、客観的に自分を知る。</p>	<p>いつでもふり返ることができるようにする。1年後もう一度行い変化を比べてみてもおもしろい！</p>

3 人間関係の形成


名称及び写真	ねらい	使い方・アピールポイント等
<p>やさしくタッチ！カード</p> 	<p>自分が日頃どのような行動をしているのかを知り、その行動についてこのカードを見ながら振り返ったり、適切な関わりができるように促したりします。</p>	<p>教師集団でこのカードを活用することで、担任以外でも対象児童に対して「優しく・心地よい」関わりをわかりやすく、また統一して伝えることができる。</p>
<p>いろいろな気持ちと その感情に合った状況絵</p> 	<p>表情や感情の理解を深めます。</p>	<p>①表情絵カードの神経衰弱（表情に注目し、感情の言葉と一緒に覚えます）②表情絵カードと教師の表情写真のマッチング（人の表情に注目し理解を深めます）③表情絵カードと状況絵カードのマッチング（場面と感情を照らし合わせ考えていきます）④教師によるロールプレイングを見る（状況絵で理解</p>

		しにくい場面を動画で見ることにより理解しやすくなります)
ソーシャルスキルトレーニング(SST) 絵カード(連続絵カード)のワークシート 	絵に描かれた状況や人物の感情、言葉のやりとり等について学習をした後で、ワークシートに自分の考えをまとめます。	文字で書くことで、学習した内容や自分の気持ちを整理しまとめることができます。自分と友だちとの類似点や相違点を、言葉のみよりも文字で書いてあることで気づきやすいことがあります。教師は子どもの理解度や考え方の特徴を把握する手立てになります。

4 環境の把握



名称及び写真	ねらい	使い方・アピールポイント等
スクーターボード 	前庭覚、固有覚、触覚、視覚への刺激が与えられます。加速刺激も入力できます。身体像の形成も促します。	手足を使って自ら進んだり、フラフープを持たせて引っ張ったり、回転させたりして活動を楽しめます。

5 身体の動き

名称及び写真	ねらい	使い方・アピールポイント等
ひっぱりおもちゃ 	目と手の協応を促します。手指の巧緻性を高めます。	引っ張ります。引っ張る感触がおもしろく、終わりがわかって見通しが持てるようになります。

<p>はがしてスッキリ</p> 	<p>目と手の協応を促します。 手指の巧緻性を高めま す。</p>	<p>少し強めのマジックテ ープをビリッ！とめく る感覚が味わえます。</p>
<p>ひも通し</p> 	<p>手指の操作性を高めま す。 集中力も高めることが できます。</p>	<p>いろいろな形や色があ るので楽しく取り組め ます。</p>
<p>フタとめはずし</p> 	<p>手指の操作性を高めま す。 集中力を高めることが できます。</p>	<p>物をひねったり回した りする力がつきます。</p>
<p>クリップとめはずし</p> 	<p>手指の操作性を高めま す。 集中力を高めることが できます</p>	<p>クリップの種類は子ど もによってかえること ができます。クリップを はさむ厚紙に模様や、は さむ型を書いておけば より意欲的に取り組め ます。</p>
<p>牛乳パック椅子</p> 	<p>座位のための補助具を 使い自分で座る。(腰ベ ルトを装着し、座面や 腰、背中など必要に応 じてクッションを使用)</p>	<p>製作費用はタダです。子 どもの身体に合わせて 作ることも簡単です。</p>

6 コミュニケーション

名称及び写真	ねらい	使い方・アピールポイント等
吹く練習シリーズ 	吹く練習により、呼気、吸気のコントロール力をつけることができます。	口に物をくわえるのが苦手な子は、風車やお花紙で練習します。吹く力が弱い場合、お花紙だと少しの息で変化が見えるのでわかりやすいです。
iPadでマカトンサインの練習 	正しいマカトンサインを覚える。できるマカトンサインを増やしたり、言葉とマカトンサインを一致させたりします。	iPadをつかうことで意欲的に取り組める。iPadを自分で操作することができる。両手を使って教えることができます。

その他

人間関係の形成・環境の把握・身体の動き


名称及び写真	ねらい	使い方・アピールポイント等
じゃんけんルーレット 	「ルーレットを回すために必要な手指の動作の獲得」「じゃんけんの概念の形成」「色やじゃんけんの手の形の判別」など基礎的な概念の形成も図る。他者とのかかわりを広げ、集団での遊びに参加できることを目指します。	制作コストがほぼ0円。持ち運びが手ごろなサイズのため、外での活動にも持っていける。キャップ下部分のストロー部分の長さを調節することで回転強度を調整できます。

環境の把握・身体の動き

名称及び写真	ねらい	使い方・アピールポイント等
<p>しぼるん棒 1号・2号</p> 	<p>しぼるん棒 1号により「絞る」動作を身につけるとともに、手首や腕の回内・回外の可動域を拡げる。さらに、しぼるん棒 2号により「トルク（棒状の物体をねじる方向の力）をかける続けられる筋力の向上を目指す。また動作と回転の方向や色、時間を示す言葉等を関連付けながら指導することで基礎的な概念の形成も図る。</p>	<p>・制作コストが安い！100均で手に入るもので作ることができる。1号：木製ねじ、ナット、強力接着剤、棒、ドリル 2号：竹製水鉄砲、事故防止クッション材、強力接着剤・対象の生徒が手が汚れることに対する嫌悪感を持っているため、手触りの良い自然素材を活用した。・トルクするためにかかる負荷や力のかけ具合を、クッション材の弾性や印の位置により調節できる。</p>

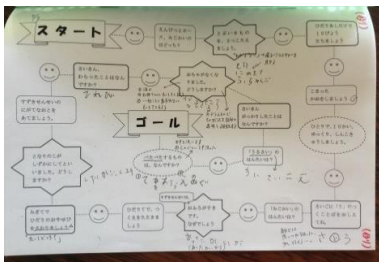
心理的な安定・人間関係の形成・環境の把握

・コミュニケーション

名称及び写真	ねらい	使い方・アピールポイント等
<p>トータス (10+)</p> 	<p>友だちの対戦式のゲームを通して、注意を持続させ集中して活動に取り組めることを目指しつつ、移り変わるゲームの場面や対戦相手の状況を理解して心理的抵抗を軽減したり、相手への応援等の相手に配慮した言葉遣いやコミュニケーションを行えるよう教材を設定し実施した。また数学で身につけた力を活用すること</p>	<p>・制作時間はかかるが、コストは200円程度。・数字ごとに色を決め、視覚的にも判別しやすいよう工夫した。・足し算と神経衰弱を組み合わせたゲームのため難易度は高いが、その分ゲーム性は高く対象生徒が興味関心を持って取り組むことができている。・紙コップを重ねることで「10のまとまり」や獲得数を視覚的、動作的にも判断しやす</p>

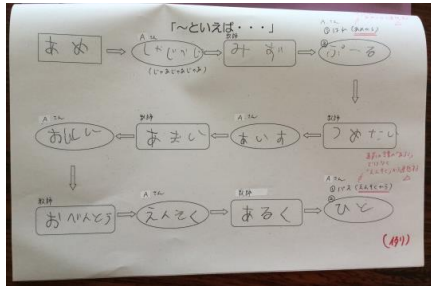
	<p>で「できた」という意欲やさらなる計算力の向上を図る。</p>	<p>い。・相手のターンにも、一緒に計算したりカップの位置を覚える等、主体的にゲームに参加する機会があり、互いに「足したら〇〇だね」等やりとりが生まれている。さらにゲームを優位に進めるためには集中したり注意を持続させる必要があるため、生徒が集中している時間が長くなっている。・カップを重ねる感覚が気持ちいい。→片付けも楽しい。</p>
--	-----------------------------------	---

人間関係の形成・コミュニケーション

名称及び写真	ねらい	使い方・アピールポイント等
<p>ソーシャルスキルトレーニング（SST） すごろく</p> 	<p>すごろくゲームを通じて、SSTの学習を行います。</p>	<p>子どもは楽しいゲームの中で自由に意思を伝えながら進めていきます。子どもの発達段階や特徴に合わせ、教師が課題を考えてその子独自の問題を考えることができます。</p>

人間関係の形成・コミュニケーション

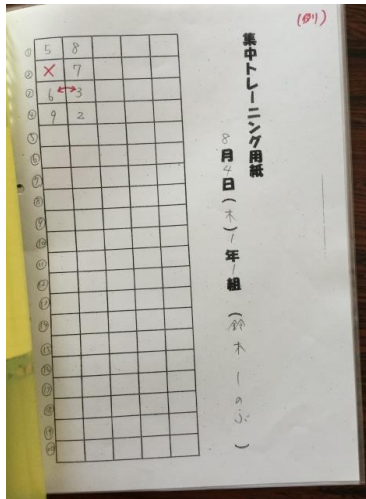
名称及び写真	ねらい	使い方・アピールポイント等
<p>「～と言えば」</p>	<p>相手の話を聞かずに一方的に話すことが多い子どもや、言葉を知っているがそこからイメージが拡がり難い子ども達が、相手が伝えた言葉を聞いて、それに合った言葉を</p>	<p>当初は最初に出てきた言葉のイメージや自分が言いたいことに引きずられて、直前に相手が話した言葉と無関係な言葉を伝えることや、言葉が思いつかずに怒ってしまうこ</p>



イメージし伝える力を高める。

とがありました。学習を進める中で、相手の言葉に合った言葉が考えられたり、「わからないからヒントちょうだい」等伝えられるようになってきました。


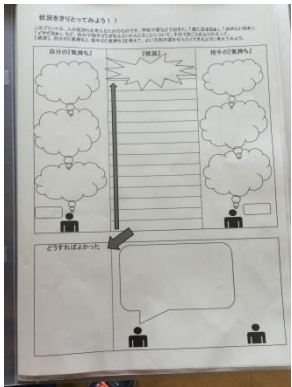
1 分間トレーニング (数字・文字・記号等)



集中力の継続。友だちや教師を意識し、合わせる。相手が聞き取りやすい声の大きさやスピード等を調整する力を高める。相手が話したことを正しく聞き取り、適切に処理して応える力を高める。

友だちや教師とペアで行います。活動開始当初、読み手は相手を見ずに自分のペースで読み進んでしまったり、聞き手は読み手が読み始めても知らないふりをしたり、相手の読むスピードに付いていけずに黙って困ったり怒り出すことがありました。活動開始前にそれぞれ目標を決めて、「相手が書くのを見ながら読む」「相手が分かりやすいようにゆっくり読む」「わからないときはもう一回いってくださいと伝える」等それぞれが気を付けることを意識して読むことで改善していきました。

心理的な安定・人間関係の形成・コミュニケーション

名称及び写真	ねらい	使い方・アピールポイント等
<p>SST（人との接し方、関わり方、いろいろな約束、ルール）</p> 	<p>表情理解を通して自分の気持ち、人の気持ちに気付く。気持ちの安定を図り、色々な活動ができる。状況に応じたコミュニケーションが図れる。</p>	<p>個々の実態に応じて正しい行為等について具体的に示すことで、理解を促しやすくしている。少し操作できる部分を取り入れることで、より注目して聞き、意識できるようにしている。自立活動の時間以外においても、すぐ取り出し、振り返られるようにしている。</p>
<p>気になること</p> 	<p>自己理解、他者理解</p>	<p>即時評価、ふり返りのツールになります。客観的に自分を見つめることが可能。</p>